

2005
vol.16

ひろいトピックス

国土交通省
広島維持
出張所



新工法の紹介 コンクリート再劣化防止

これが、「犠牲陽極材」です。

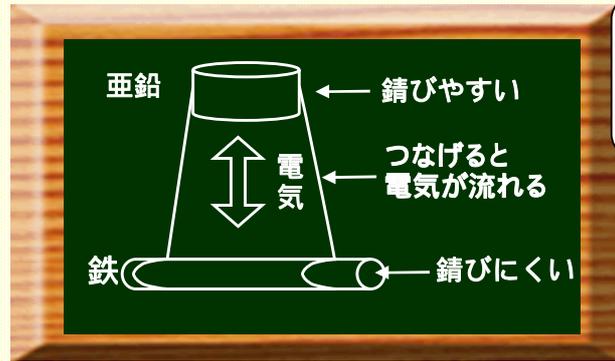


西区の己斐跨線橋においてコンクリート内の鉄筋の腐食防止のため、床版の補修工事を施工しました。

コンクリート施工時に海砂を使用したり、塩化カルシウム等の凍結防止剤の使用により、コンクリート中に塩分が侵入した場合、その塩分によってコンクリートの内部にある鋼材が錆び、塩害が発生します。塩害による劣化した構造物の補修は、通常行われる部分的な断面修復では、せっかく補修した周辺から短時間で再劣化します。



補修箇所に「犠牲陽極材」を取り付けることにより、その中に含まれている亜鉛が鉄筋の身代わりとなって錆び、鉄筋を腐食から守ってくれます。



鉄よりも錆びやすい亜鉛が「犠牲」となって、鉄筋の錆びを防いでくれるんだよ。



海田西小学校2年生が出張所を見学

2月7日、海田西小学校の2年生18名が生活科の学習のため、広島維持出張所の見学を行いました。

小学生たちは、佐藤出張所長から、出張所の仕事についての説明があった後、散水車や道路清掃作業車などに乗って、興味を持ってくれたようです。

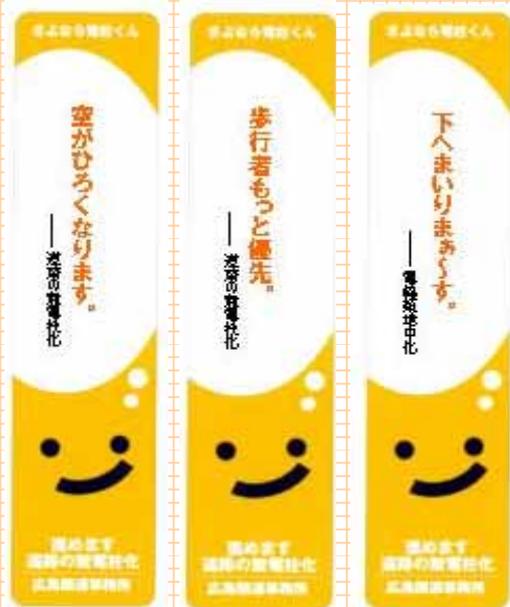


観音地区電柱撤去！

新観音橋西詰交差点～観音本町交番の上下線において、電線共同溝の工事を行っています。

それに伴い、電線類がすべて地中化されるため、電柱が撤去されることになりました。

撤去される電柱には、左の看板が設置されています。



電柱さん！

今までおつとめ
ごころさまでした！

